



食べ物の好き嫌いは？

新年度の保育園の入園面接が二月一日から三日まで行われました。今年の入園申請者は、公立・私立合わせて五百十九人で昨年より約六十人減りました（早通いするが

冬場所の豆力士

大雪をうまく利用し、体育の間は相撲大会。ハツケヨイ、ノコッタノという先生の掛け声と、子供たちの歓声に思わず力が入る豆力士（一月三十日、太田小学校で）



スリップ事故に注意!!

一月二十五日、横土居地区内の国道で大型車同士の衝突事故が起きました。凍結によるスリップ事故でしたが、運転席が大破し、消防本部から救助工作車が出動、運転手を救出しました。



泥田のれんこん掘り

雪をとかした泥田の中からは一本一本掘り上げられるれんこん。今年のできは「まあまあ」で、四・五月ごろまで市日に出荷されるとのこと（一月二十八日、検て）



(25)

豊栄市の地名

間もなくできる伝橋を「新郷橋」と名づけることにしました。前の橋は、農林省が阿賀野川農業水利事業で新設した無名の農道橋です。だれ言うことなく伝橋となり、数年前市の道路台帳整備のときに台帳に搭載したものです。山、川、湖、潟、部落名など、すべて地名は、昔の自然発生的なものです。

新井郷川を昔は濁川と言いました。川のほとりに濁川と名づけた部落ができたので、川の名を変えたものと思われま

す。新井郷川とは、新しい郷地を流れる川、という意味です。新郷川でいいものを、だれかが文字で書いたとき、意味のない「井」を入

れたものと思います。

ところが、また川の名と同じ新井郷部落ができました。昔は新井郷を太子堂興野と言っていたので

新しい橋の名称は、新井郷部落にできる橋、というだけの意味でなく、本来の名である新郷川にかける橋の意味です。また、一方は昔新たにできた郷地であり、一方は、移住して来た人には第二の故郷、ここに生まれた人には生まれ故郷である、新しい住宅団地である、という意味でもあります。

下越には興野という地名が多くあります。興野の語源は荒野で、荒れた原野を開拓してできた所です。昔の太田興野が明治時代に太田古屋になり、豊栄町になってから太田に改められました。

越後全域に新田があり、福島潟周辺に特に多くあります。これは新しい分村地のことです。

昔は葛塚を下興野新田、嘉山を下興野上野新田、浦木を山飯野新田、内沼を里飯野新田と言いました。これには新田が消えています。今でも正式の地名でありながら、長

戸呂新田を大瀬柳、高森新田の一部を兄弟堀と言っています。則清村新田を村新田、嘉山前新田を前新田と、上部を省略して正式の地名とした所もあります。

表紙のことば
岡方地区の老人クラブ連合会会長前田甚松が、二月七日、地区の高齢者や寝たきり老人約百人に健康農園で育てた花をプレゼントしました。五十五年から毎年行われているこのプレゼント、鉢植えのサイネリアを贈られたお年寄りたちは「長生きしなくっちゃね」とこ機嫌でした。

編集室

▽「およそ日本国において、第一雪の深き国は越後なり」と昔も今も人のいうなり。江戸の人は雪を見て酒食を楽しみ、越後の人は雪のために力を尽くし財を費やす。楽しむと苦しむとは雲泥のちがひなり。これは越後に生まれた鈴木牧之が、百五十年程前に著した「北越雪譜」の一節です。

▽雪のためにスリップして動けない車を、通りがかりの人が押している光景をよく見かけました。狭い雪道をお互いに譲り合っている姿も何度か見ました。雪のない東京に比べると、雪の深い新潟は人情も深いんですね。

豊栄市長 石井 耕一